

交 流 推 進 部

1. 部総括表

部名：交流推進部
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
7-1	交流推進課	(177,248) 1,821,874	(160,566) 1,524,598	238,433	(16,682) 58,843	
7-2	観光振興課	436,485	429,431		7,054	
7-3	交通政策課	(268,630) 2,342,813	(251,371) 1,448,194	870,721	(17,259) 23,898	
7-4	空港振興課	(11,678) 1,291,998	(11,677) 1,242,092	47,000	(1) 2,906	
7-5	県産品振興課	354,032	336,455		17,577	
	部計	(457,556) 6,247,202	(423,614) 4,980,770	1,156,154	(33,942) 110,278	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：交流推進課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-1-1	給与費	275,163	273,409		1,754	交流推進課職員の給与費 給料138,803、職員手当等88,100 共済費46,506
7-1-2	交流推進事務費	11,179	10,908		271	交流推進課の運営等に要する経費
7-1-3	県立公園等維持 管理事業	(3,981) 134,747	(3,974) 117,276	16,059	(7) 1,412	県立公園施設整備等事業 主要施策の成果の概要 (7-1-3)に記載
7-1-4	栗林公園特別会 計繰出金	108,012	91,411		16,601	一般会計から栗林公園特別会計へ 繰り出すもの
7-1-5	県立公園施設整 備事業	(3,799) 89,836	(3,684) 25,052	59,998	(115) 4,786	県立公園施設整備等事業 主要施策の成果の概要 (7-1-3)に記載
7-1-6	瀬戸大橋記念公 園管理運営等事 業	(11,504) 175,082	(11,121) 161,898	12,800	(383) 384	瀬戸大橋記念公園の管理運営に要する経 費のうち、瀬戸大橋記念公園施設整備事 業を主要施策の成果の概要(7-1-3)に 記載
7-1-7	坂出緩衝緑地管 理運営事業	52,096	50,595	1,500	1	坂出緩衝緑地の管理運営に要する 経費
7-1-8	栗島海洋記念公 園管理運営事業	(102,314) 203,304	(101,890) 105,098	97,780	(424) 426	栗島海洋記念公園の管理運営に要する経 費のうち、栗島海洋記念公園施設整備事 業を主要施策の成果の概要(7-1-3)に 記載
7-1-9	県立公園等活性 化事業	65,366	24,034	40,700	632	県立公園施設整備等事業 主要施策の成果の概要 (7-1-3)に記載
7-1-10	コンベンション 開催等による交 流推進事業	56,129	53,075		3,054	交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-10)に記載
7-1-11	地域密着型ス ポーツ応援事業	64,583	64,309		274	交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-10)に記載
7-1-12	世界レベル競技会 関連事業	878	10		868	2025年世界陸上競技選手権大会の 事前合宿誘致に要する経費
7-1-13	かがわマラソン (仮称)実施準備 事業	19,094	14,610		4,484	交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-10)に記載
7-1-14	県立アリーナを活用 した新たな観光コン テンツづくり事業	87,000	87,000			交流推進事業 主要施策の成果の概要 (7-1-10)に記載
7-1-15	サンポート高松 交流拠点施設等 管理事業	(55,650) 448,546	(39,897) 419,484	9,596	(15,753) 19,466	サンポート高松交流拠点施設等の 管理運営に要する経費
7-1-16	駐車場事業特別 会計繰出金	30,859	26,429		4,430	一般会計から駐車場特別会計へ繰 り出すもの
	課計	(177,248) 1,821,874	(160,566) 1,524,598	238,433	(16,682) 58,843	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R7.3.31現在)

課名：交流推進課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
交流推進課	(12) 28	[1] 4	[1] (12) 32	(公社)瀬戸大橋記念公園管理協会派遣1名 市併執職員1名、産前休暇1名、育児休業1名
栗林公園観光事務所	15	11	26	
合計	(12) 43	[1] 15	[1] (12) 58	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
県立公園施設整備等事業（7-1-3） 1. 趣旨・概要 栗林公園については、本来の魅力である庭園美を生かし、春・秋のライトアップ、薪能等のイベントを開催するなどして、国内外からの来園者の満足度向上を図った。 また、県立公園については、清掃、草刈りの日常の維持管理や施設改修・修繕を行い、快適で安全な公園環境を維持するとともに、より快適な公園を目指して施設整備等を行ったほか、琴林公園を起点とする地域の活性化を図るため、施設整備等に取り組んだ。 2. 具体的内容 （1）栗林公園活性化事業（88,342 千円） ①南湖での和船周遊 船頭の解説を聞きながら約 30 分かけて南湖を一周する和船の運航を行った。 ②春・秋のライトアップ 平成 13 年秋から実施しており、春のライトアップについては、期間中の夜間入園者数が歴代 3 位となった。 ③庭師のガイドツアー（ゼロ予算事業） 栗林公園の日々の手入れを、解説付きで案内するとともに、参加者に庭木の手入れのポイントをアドバイスするガイドツアーを 5 月、10 月に実施した。 ④栗林公園開園 150 周年事業 記念式典の開催や図録の増刷を行った。 ⑤栗林公園誘客促進・インバウンド受入機能強化事業 栗林公園の魅力を効果的に発信する映像作成のほか、園内ガイドの多言語化の充実やキャッシュレス化など受入環境を整備した。 ⑥栗林公園薪能開催事業 公園の魅力やブランド力の向上を図るとともに、国内外からの観光誘客に繋げるため、薪能を開催した。 （2）県立公園等施設整備維持管理事業（243,210 千円） ①県立公園等維持管理事業（98,579 千円） 県立公園における松くい虫薬剤防除や被害木の伐採などの維持管理等を行った。 ②県立公園施設整備事業（25,052 千円） 栗林公園の日暮亭屋根改修に伴う実施設計、琴弾公園の照明灯設置、桃陵公園の標識設置等を行った。 ③瀬戸大橋記念公園施設整備事業（17,689 千円） 藤棚の整備のほか、長寿命化計画の策定を行った。 ④栗島海洋記念公園施設整備事業（101,890 千円） 栗島海洋記念館本館の耐震改修工事を行った。	令和 6 年度の栗林公園の入園者数は、円安の進行や高松空港における国際線の新規運航・増便等によるインバウンドの増加に伴い、令和 5 年度比 110.8%と増加した。 入園者数（内訳：外国人入園者数） 令和 4 年度 577,588 人(29,423 人) 令和 5 年度 689,856 人(144,755 人) 令和 6 年度 764,354 人(217,340 人) 春・秋のライトアップ夜間入園者数 令和 6 年 春 21,704 人 秋 24,299 人 和船の乗船者数 令和 4 年度 22,525 人 令和 5 年度 27,906 人 令和 6 年度 33,041 人 県立公園について、効率的な維持管理及び計画的な施設整備や改修工事等ができた。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(3) 県立公園等活性化事業 (24,034 千円) ① 県立公園等活性化事業 (22,534 千円) 琴林公園を起点とした地域の活性化を図るため、施設整備等を行った。 ② 「KINRIN マルシェ」開催事業 (1,500 千円) 国立公園指定 90 周年を記念し、琴林公園の津田の松原においてマルシェを開催した。	琴林公園について、地域のにぎわいづくりのための施設整備やイベント開催等ができた。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
交流推進事業（7－1－10） 1. 趣旨・概要 交流人口の拡大に向けて、コンベンションをはじめとするMICEやクルーズ客船の誘致、地域密着型スポーツチームの活用に取り組んだ。 2. 具体的内容 (1) コンベンション開催等による交流推進事業 (53,075 千円) ① コンベンション開催等支援事業（23,711 千円） 県内のコンベンション施設等を利用した国際会議、全国大会及び学会等を誘致したほか、サンポート高松におけるにぎわい創出のため、補助を行った。 (i) コンベンション等開催支援事業 県内で開催される国際会議、全国大会及び学会の誘致を促進するため、主催者団体に対し補助を行った。 (ii) サンポート高松交流推進事業 サンポート高松のにぎわい創出を目的として、(公財)高松観光コンベンション・ビューローが行うサンポート高松にぎわい創出事業等について、補助を行った。 ② MICE誘致推進事業（6,766 千円） 「香川県MICE誘致推進協議会」に負担金を拠出し、同協議会の取組みを通じて、コンベンション主催者団体への誘致活動、県内で開催するコンベンションの開催支援、MICE啓発セミナー等を実施した。 ③ クルーズ客船誘致推進事業（22,598 千円） クルーズ客船の高松港への誘致を図るため、クルーズ船社等への誘致活動を行うとともに、寄港時の歓迎イベントを実施した。 (i) 誘致活動の実施 クルーズ船社や旅行代理店等を訪問し、高松港へのクルーズ客船の誘致に努めた。 (ii) 歓迎イベントの実施 クルーズ客船の寄港時に、郷土色豊かなアトラクション等を実施し、歓迎した。 (2) 地域密着型スポーツ応援事業（64,309 千円） ① 香川プロスポーツサポート事業（36,900 千円） 県と17市町で構成する「香川県地域密着型スポーツ活用協議会」に負担金を拠出し、地域密着型スポーツチームの地域に根差した活動の促進を図った。	3. 指標 MICEの参加者数 (人) <table><tr><th>基準値 (R4)</th><th>実績値 (R6)</th><th>目標値 (R7)</th></tr><tr><td>42,382</td><td>61,055</td><td>66,000</td></tr></table> MICE開催件数 (件) <table><tr><th>基準値 (R4)</th><th>実績値 (R6)</th><th>目標値 (R7)</th></tr><tr><td>111</td><td>197</td><td>205</td></tr></table> 令和6年度交付実績 16件 (国際会議9件、全国大会及び学会7件) クルーズ客船の高松港への寄港実績 令和6年度：11回（初寄港1回） 各チーム合計の観客動員数 令和6年シーズン：97,255人	基準値 (R4)	実績値 (R6)	目標値 (R7)	42,382	61,055	66,000	基準値 (R4)	実績値 (R6)	目標値 (R7)	111	197	205
基準値 (R4)	実績値 (R6)	目標値 (R7)											
42,382	61,055	66,000											
基準値 (R4)	実績値 (R6)	目標値 (R7)											
111	197	205											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(i) 交流事業 各種スポーツ教室やイベントへの選手派遣を行ったほか、試合会場における地域特産品のPRや住民の招待等を行うホームタウンデイを実施した。 また、キャリア教育を学ぶ機会の創出やボランティア人材の育成を図ることを目的として、県内小学生を対象に、試合やイベント運営等を体験してもらう職業体験イベントを実施した。 (ii) 情報発信事業 商業施設やJR駅等で、幅広い世代に向けて、各チームの試合情報や魅力をPRしたほか、チームが遠征先で実施した本県をPRする活動に対して補助を行った。 また、中四国のJリーグチームの自治体との連携イベントを実施した。 (iii) 地域密着型支援による応援機運醸成事業 公式戦の施設使用料及びシャトルバスの運行経費に対する助成を実施した。 ②地域密着型スポーツ魅力向上事業（26,989千円） 様々な地域資源を活用したイベントや情報発信により、試合観戦の魅力向上と観戦機運の醸成に努めるとともに、ファンと選手との交流などを通じて球団の魅力発信に取り組んだ。 ③イベント開催による交流推進事業（420千円） 地域密着型スポーツチームを活用した本県のPRを行うほか、四国4県連携による優秀選手表彰などにより、地域密着型スポーツチームの認知度向上に努めた。 (3) かがわマラソン（仮称）実施準備事業（14,610千円） かがわマラソン2026の開催に向け、県警や県陸上競技協会、高松市をはじめ関係市町など県内が一丸となって開催準備や大会運営に万全を期すため、令和6年10月に「かがわマラソン実行委員会」を設立し、準備等に取り組んだ。 (4) 県立アリーナを活用した新たな観光コンテンツづくり事業（87,000千円） 夜型観光の推進を図るため、サンポート高松地区の新たなシンボルとなる県立アリーナとその周辺空間を生かしたイベントの一つとして、県立アリーナを活用したプロジェクションマッピングを行い、その上映に合わせて観賞クルーズを実施した。	選手派遣実績 令和6年度：63件 ホームタウンデイ開催実績 令和6年度：21試合（8市5町） プロジェクションマッピング 実施日：令和7年3月13日～3月15日 来場者数：約33,000人（3日間合計） 観賞クルーズ 実施日：令和7年3月13日～3月14日 乗船者数：約800人（2日間合計）

2. 課総括表

課名：観光振興課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-2-1	戦略的観光情報発信事業	58,204	57,313		891	主要施策の成果の概要 (7-2-1)に記載
7-2-2	観光施設等情報環境維持管理事業	1,314	948		366	県有の観光施設や交通施設に設置したWi-Fiスポットの維持管理及び広報に要する経費
7-2-3	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業	18,783	17,998		785	主要施策の成果の概要 (7-2-3)に記載
7-2-4	滞在型観光推進事業	24,419	22,864		1,555	主要施策の成果の概要 (7-2-4)に記載
7-2-5	魅力ある観光地づくり推進事業	14,604	14,593		11	観光客受入態勢整備事業 主要施策の成果の概要 (7-2-5)に記載
7-2-6	癒しの四国観光推進事業	39,294	39,265		29	広域観光推進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-6)に記載
7-2-7	観光振興対策推進事業	23,633	23,069		564	(公社)香川県観光協会への人的・財政的支援に要する経費
7-2-8	他県連携事業	4,700	4,542		158	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-3)に記載
7-2-9	瀬戸内ブランド推進事業	26,956	26,733		223	広域観光推進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-6)に記載
7-2-10	給与費	136,752	136,236		516	観光振興課職員の給与費等 給料70,769、職員手当等 42,833、共済費22,634
7-2-11	観光事務費	3,234	3,224		10	観光振興課の運営等に要する経費
7-2-12	観光客の利便性・満足度向上事業	21,499	19,956		1,543	観光客受入態勢整備事業 主要施策の成果の概要 (7-2-5)に記載
7-2-13	新しい香川に出合う旅誘客キャンペーン事業	28,493	28,102		391	戦略的観光情報発信事業 滞在型観光推進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-1)、(7-2-4)に記載
7-2-14	万博を契機とした誘客促進事業	34,600	34,588		12	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業 主要施策の成果の概要 (7-2-3)に記載
	課計	436,485	429,431		7,054	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R7.3.31現在)

課名：観光振興課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
観光振興課	(4) 18	[1] 3	[1] (4) 21	(公社)香川県観光協会派遣1名 (一社)せとうち観光推進機構派遣1名 (一社)四国ソーリズム創造機構派遣1名 市町併執職員1名 育児休業1名
合計	(4) 18	[1] 3	[1] (4) 21	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
戦略的観光情報発信事業（7－2－1） 1. 趣旨・概要 旅行先や購入先として「選ばれる香川」を目指し、本県の認知度及びブランド力の向上に継続的に取り組むとともに、首都圏などを中心とした県外市場に向けて効果的な情報発信を行った。 2. 具体的内容 (1) うどん県アート県ブランドプロモーション事業 (51,833 千円) 本県の認知度やブランド力の向上を図るため、テレビ、雑誌等、各種媒体に本県のコンテンツが取り上げられるようパブリシティ活動を行うとともに、企業と連携したPRや雑誌での広告等による情報発信を行った。瀬戸内海国立公園指定 90 周年記念として、映画とタイアップした試写会イベントや交通広告等を実施した。 (2) ウェブ観光情報発信事業（5,480 千円） 本県への誘客促進を図るため、観光スポット、地元グルメ、アクセスなど観光客等が必要とする旬できめ細かな観光情報を香川県公式観光サイト「うどん県旅ネット」で提供した。 (3) 魅力発見ハッシュタグキャンペーン事業 (2,883 千円) 訪れた本県の観光地等で写真を撮影し、「#（ハッシュタグ）」に指定する言葉を付けてSNSに投稿した観光客等に、抽選で県産品等の景品が当たるキャンペーンを実施し、認知度の向上や県外からの誘客促進を図った。また、令和5年度のハッシュタグキャンペーンに投稿された写真について、首都圏での交通広告（バスラッピング）に活用した。	3. 指標 県外観光客数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,262</td><td>10,171</td></tr></table> パブリシティ活動 WEB・新聞等：掲載件数 284 件 テレビPR：12 本 約 158 分 SNSフォロワー数 X：19,132 人 Instagram：41,601 人 Facebook：6,260 人 「うどん県旅ネット」アクセス数 （ページビュー数）：年間 6,033,865 件 第1期投稿数：4,534 第2期投稿数：3,430 合計：7,964	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	7,770	9,262	10,171
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
7,770	9,262	10,171					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業（7－2－3） 1. 趣旨・概要 県内全域に観光客の誘致を図るため、琴平、栗林公園、屋島、小豆島といった老舗観光地を中心に、イベントや情報発信などを行う誘客キャンペーンを実施した。 2. 具体的内容 （1）旅行商品誘客促進事業（2,566 千円） 本県への誘客促進を図るため、県内での宿泊を伴うバスツアーの造成経費の一部を助成した。 （2）サイクリング誘客促進事業（2,101 千円） サイクリストの誘致を図るため、基幹ルート及び地域ルートを掲載した全県版パンフレットと、エリア（東讃・小豆・高松・中讃・西讃）ごとのパンフレットを配布するなど、サイクリストの受入環境を整備した。 （3）新たな旅行需要開拓事業（4,663 千円） 大阪・関西万博の開催に向け、瀬戸内海、アート、遍路等のコンテンツを生かした旅行商品の造成やプロモーション活動による新たな市場を開拓するため、国内航空路線誘致に向けた航空会社や旅行会社に対する働きかけや、富裕層の誘客促進に向けた旅行会社に対するFAMツアーを実施した。 （4）万博を契機とした誘客促進事業（34,588 千円） 大阪・関西万博を契機とした本県への誘客促進を図るため、OTA事業者との連携により、体験型コンテンツの造成、販売を行うとともに、体験型コンテンツと宿泊をセットにした宿泊プランの造成、販売を行った。また、閑散期における県内誘客促進のため、宿泊料の割引クーポンを配付した。 また、2025 年の万博・瀬戸芸に向け、本県への周遊・滞在型の旅行商品の造成・販売が行われるよう、大手旅行会社と連携し、万博のテーマ（例：SDGs）を意識した体験コンテンツの一覧の作成や、モニターツアー等の実施・検証を行い、顧客ニーズの実態を把握することにより、一層の誘客促進に取り組んだ。	3. 指標 県外観光客数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,262</td><td>10,171</td></tr></table> 延宿泊者数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,747</td><td>4,891</td></tr></table> バスツアー：82 件 4,274 人 国内航空路線誘致に向けた市場開拓 チャーター便造成・広告支援：3 社 富裕層向け旅行会社に対するFAMツアー：4 社 体験型コンテンツの造成数：14 コンテンツ 体験型コンテンツと宿泊をセットにした宿泊プラン数：21 施設、106 プラン 閑散期の宿泊割引クーポン利用による人泊数：628 人 モニターツアーの造成・販売数 宿泊：12 コース 63 本造成・販売 日帰り：4 コース 11 本造成・販売 特設WEBサイト・Instagram開設	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	7,770	9,262	10,171	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	3,240	4,747	4,891
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）											
7,770	9,262	10,171											
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）											
3,240	4,747	4,891											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(5) 万博を契機とした他県連携相互誘客事業 (4,542 千円) 香川県・兵庫県または香川県・岡山県の両県を周遊する旅行商品の造成・販売や新たな高付加価値コンテンツの造成など、他県と連携して認知度向上や新たな市場開拓につなげる取り組みを行い、誘客促進を図った。	兵庫県連携：6 コース造成・販売 2 コンテンツ造成 岡山県連携：3 コース造成・販売

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
滞在型観光推進事業（7－2－4） 1. 趣旨・概要 観光圏整備法に基づき認定を受けた「香川せとうちアート観光圏」において、本県への誘客・滞在につなげるため、市町や市町観光協会、観光事業者などと連携し、圏域での周遊・連泊の促進や、来訪者への情報発信などに取り組んだ。 2. 具体的内容 （1）香川せとうちアート観光圏滞在促進事業 （8,878 千円） ①体験型旅行商品の造成・農泊推進 観光コンテンツの造成及び農泊の推進に関するワーキンググループを設置し、観光客の滞在を促進するコンテンツの造成に向けた検討や農泊推進のための広報等を行った。 ②観光地域づくりに資する人材の育成 地域の観光振興を担う人材として、観光庁が認定する「観光地域づくりマネージャー」のステップアップ研修に本県のマネージャーを派遣するとともに、新たに1名が育成セミナーを修了し、マネージャーの認定を受けた。 （2）島へ行こうキャンペーン事業（25,219 千円） 県民をはじめ多くの観光客に、多島美を誇る瀬戸内海の素晴らしさを改めて感じてもらい、島を訪れるきっかけづくりや、島を含めた本県への誘客促進を図るため、島お手伝い旅などのツアーの造成や、高松港での交流イベント等を実施した。 （3）持続可能な観光地域づくり支援事業（13,986 千円） 持続可能な観光地域づくりを目指し、民間事業者等が実施する観光客の継続的な来訪や長期滞在を促進すること等を目的とした観光コンテンツの造成や誘客イベントに要する経費の一部を補助した。	3. 指標 県外観光客数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,262</td><td>10,171</td></tr></table> 延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,747</td><td>4,891</td></tr></table> 県外観光客観光消費金額（暦年） （億円） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>1,077</td><td>1,407</td><td>1,189</td></tr></table> 島お手伝い旅 参加者：71 人 島クルーズ旅 10 コース催行：793 人 交流イベント 9 日間：延べ約 62,000 人 補助件数：6 件 補助対象事業の延べ来場者数 ：約 72,700 人	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	7,770	9,262	10,171	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	3,240	4,747	4,891	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	1,077	1,407	1,189
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）																	
7,770	9,262	10,171																	
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）																	
3,240	4,747	4,891																	
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）																	
1,077	1,407	1,189																	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
観光客受入態勢整備事業（7－2－5）	3. 指標						
1. 趣旨・概要	県外観光客数（暦年）（再掲）（千人）						
本県を訪れる観光客の満足度と利便性の向上を図るため、おもてなし力の向上や、魅力ある観光情報の提供、Wi-Fi スポットの整備など、観光客の受入態勢の充実・強化を行った。	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,262</td><td>10,171</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	7,770	9,262	10,171
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
7,770	9,262	10,171					
また、魅力ある観光地づくりを推進するため、観光香川おもてなし運動を推進し、全県的なおもてなしの機運の醸成を図った。	延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人）						
	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,747</td><td>4,891</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	3,240	4,747	4,891
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
3,240	4,747	4,891					
2. 具体的内容	外国人延宿泊者数（暦年）（千人）						
（1）外国人観光案内所運営事業（10,485 千円）	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>34</td><td>907</td><td>818</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	34	907	818
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
34	907	818					
来訪する外国人観光客の利便性の向上等を図るため、多言語（英語、中国語、韓国語）での対応や、県内はもとより国内の幅広いエリアを対象とした観光案内を行った。							
（2）魅力ある観光地づくり推進事業（14,575 千円）	地域観光ガイド育成研修						
県と市町、観光協会等が連携して、地域資源の掘り起こしや「まち歩き」を推進するための「てくてく通信」の発行、観光実態調査などを実施するとともに、全県的なおもてなし運動を展開し、タクシー乗務員や観光業務従事者向けに「おもてなし研修会」を開催するなど、観光客の満足度の向上を図り、魅力ある観光地づくりを推進した。	：1回 21 人参加						
	おもてなし研修会						
	：5回 76 人参加						
	まち歩きツアー						
	：133 コース 延べ5,053 人参加						
（3）観光客の利便性・満足度向上事業（9,471 千円）							
①観光パスポートの発行	発行部数：49,000 部						
県内観光地の周遊・滞在を促進するため、周遊スタンプラリーや連泊キャンペーン、県内飲食店等における消費拡大のためのクーポンの企画などを掲載した観光パスポート（「うどん県おもてなしパスポート」）を発行した。							
②観光施設等のトイレの洋式化	補助施設数：7 施設						
観光施設等のトイレの洋式化を推進するため、その整備に要する経費の一部を助成した。							

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
広域観光推進事業（7－2－6） 1. 趣旨・概要 激化する地域間競争に打ち勝つとともに、域内交流を活発にするため、「癒しの四国観光推進事業」では、四国4県と民間事業者などで構成する（一社）四国ツーリズム創造機構と連携し、四国への広域周遊型観光の推進を図るため、首都圏や関西圏での情報発信や誘客促進を行った。 「瀬戸内ブランド推進事業」では、瀬戸内海に面する7県（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）や民間事業者などで構成する（一社）せとうち観光推進機構と連携し、瀬戸内の魅力を観光資源としてブランド化し、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、国内外への情報発信や瀬戸内の魅力を体感する環境整備等を実施した。 2. 具体的内容 （1）癒しの四国観光推進事業（39,265千円） ①ブランディング戦略 総合観光イベントである「ツーリズムEXPOジャパン2024」での情報発信を行った。 また、国際的な認証団体グリーン・デスティネーションズが実施する「グリーン・デスティネーションズアワード」において、小豆島が「シルバーアワード」を受賞した。 ②マーケティング戦略 航空会社とのタイアップキャンペーンの実施や、四国版観光アプリ「しこくるり」の開発・普及事業を実施し、利便性向上を図った。 また、首都圏・関西圏の旅行会社・運輸会社等を対象に四国観光商談会を開催した。 （2）瀬戸内ブランド推進事業（26,733千円） ①誘客戦略 送客力がある欧米豪の現地旅行会社等を招請したFAMツアーの実施や、WEBサイト・SNS等を活用した情報発信を行った。 ②地域の魅力づくり戦略 せとうち地域周遊ルート等の観光コンテンツを旅行商品として造成し、大阪・関西万博への来訪者向けに、万博ポータルサイト等で販売した。 せとうち地域周遊ルートに対応するスルーガイド育成・認定事業を行った。	3. 指標 県外観光客数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,262</td><td>10,171</td></tr></table> 延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,747</td><td>4,891</td></tr></table> 四国観光・旅アプリ「しこくるり」ダウンロード数（累計）：50,529人 欧米豪旅行会社等のFAMツアー：2回（対象4社） ガイド育成数：延べ38人	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	7,770	9,262	10,171	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	3,240	4,747	4,891
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）											
7,770	9,262	10,171											
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）											
3,240	4,747	4,891											

2. 課総括表

課名：交通政策課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-3-1	運輸事業振興助成費	(230,380) 823,702	(220,182) 610,053	203,310	(10,198) 10,339	主要施策の成果の概要 (7-3-1) に記載
7-3-2	交通政策課運営費	89,011	88,737		274	交通政策課の運営に要する経費 給料41,943、職員手当等28,329 共済費15,690
7-3-3	地域公共交通確保維持改善事業等	(38,250) 1,411,499	(31,189) 731,635	667,411	(7,061) 12,453	主要施策の成果の概要 (7-3-3) に記載
7-3-4	瀬戸大橋関連事業費等	18,601	17,769		832	主要施策の成果の概要 (7-3-4) に記載
	課計	(268,630) 2,342,813	(251,371) 1,448,194	870,721	(17,259) 23,898	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R7.3.31現在)

課名：交通政策課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
交通政策課	(1) 11	1	(1) 12	
合計	(1) 11	1	(1) 12	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
運輸事業振興助成費（7－3－1） 1. 趣旨・概要 物流・人流の基幹的役割を担う運輸事業の振興や維持を図るため、運輸事業の振興の助成に関する法律に基づき運輸事業振興助成交付金を関係団体に交付したほか、事業者に対して支援を行った。 2. 具体的内容 （1）貨物自動車運送業支援事業（397,111千円） 燃油価格高騰により、物流の基幹的役割を担う貨物自動車運送業者が厳しい経営状況に置かれていることを踏まえ、安全で安定した貨物輸送の維持を図るため、支援金を支給した（普通貨物自動車3万円/台、小型貨物自動車2万円/台、軽貨物自動車1万円/台）。	令和7年6月下旬時点で延べ1,179事業者、14,217台の貨物自動車に対して支援金を支給し、安全で安定した貨物輸送の維持が図られた。						
地域公共交通確保維持改善事業等（7－3－3） 1. 趣旨・概要 利便性と結節性に優れた県全体の地域公共交通ネットワークの構築に向けて、鉄道の安全性向上、生活交通路線バスや離島航路の維持確保などに取り組んだ。 2. 具体的内容 （1）地域公共交通確保維持事業（415,222千円） ①バス運行対策費等補助事業 （i）地域間幹線系統確保維持費等補助（124,217千円） ・路線維持費補助 4事業者 18系統 ・車両減価償却費等補助 4事業者 37台 （ii）準幹線系統確保維持費等補助（50,147千円） ・路線維持費補助 5市3町 34系統 ②離島航路運営費等補助（229,709千円） ・国指定 7事業者 7航路 ③UDタクシー普及促進モデル事業（3,390千円） ・12事業者 18台 ④公共交通事業者自動車運転手確保支援事業（7,759千円） バス・タクシー事業者の人材確保に向けた取組みに対する補助等を行った。 （i）二種免許取得費用補助 ・バス事業者 15社24人分 ・タクシー事業者 19社53人分 （ii）広報活動支援 ・バス事業者 8社、タクシー事業者 6社	3. 指標 主な公共交通機関利用者数（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>31,306</td><td>34,966</td><td>38,224</td></tr></table> 地域公共交通確保維持改善協議会等において策定された生活交通確保維持改善計画等に対する支援を行い、地域公共交通の確保・維持が図られた。 県内の交通事業者の人材確保に向けた取組みの促進が図られた。	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	31,306	34,966	38,224
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
31,306	34,966	38,224					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
(2) 地域公共交通バリア解消促進等事業 (174, 937 千円) ①鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 (75, 000 千円) 鉄道の安全性向上のため、高松琴平電気鉄道㈱が実施した安全輸送設備の更新に対し補助を行った。 ②バリアフリー化設備等整備事業 (9, 937 千円) 高齢者・障害者等の利便性及び安全性向上のため、四国旅客鉄道㈱が実施したJR多度津駅バリアフリー化整備の設計、ことでんが実施した挿頭丘駅及び陶駅の内方線付き点状ブロック設置、片原町駅の音声案内放送装置設置に対し補助を行った。 ③車両安全運行確保・環境改善事業 (90, 000 千円) 安全・安定した運行の維持と利便性・快適性の向上による利用者の増加を図るため、ことでんの新造車両の設計に要する経費に対して補助を行った。	鉄道利用者の利便性及び安全性の向上が図られた。
(3) 地域公共交通特別支援事業 (99, 310 千円) ①鉄道施設老朽化対策事業 (32, 113 千円) 鉄道施設の倒壊等による被害の未然防止のため、四国旅客鉄道㈱が実施した栗林高架橋高欄の長寿命化に資する改良事業に対し補助を行った。 ②ことでん沿線地域公共交通総合連携計画推進事業 (62, 579 千円) 利便性向上や利用環境改善のため、高松琴平電気鉄道㈱が実施した太田・仏生山駅間の新駅整備及び栗林公園・仏生山駅間の複線化事業に対し補助を行った。 ③公共交通利便性・満足度向上事業 (4, 618 千円) 既存の駅トイレの老朽化が著しい駅において、新たなトイレ整備のための実施設計を行った。	鉄道施設の老朽化による倒壊等による被害の未然防止が図られた。 利用者拡大等に向け、新駅の整備や複線化を進めた。
(4) 国際コンテナ貨物集荷促進事業 (5, 729 千円) 荷主及び船社等に対するポートセールスや広報活動を行うとともに、新規・利用拡大の荷主への助成を行った。	ポートセールス訪問企業 69 社 助成件数：17 件
(5) 公共交通機関調査検討事業 (5, 248 千円) ①地域交通ネットワークの充実・強化 公共交通機関利用促進のための県民への情報提供、専門家等による協議会や先進事例の勉強会の開催等を行った。 ②四国の新幹線整備啓発事業 四国4県の行政や議会、経済界で連携し、四国の新幹線導入に向けた機運醸成のため、勉強会やイベント等を開催した。また、令和6年度からは、地域の方に四国の新幹線を身近な現実的なものと考えてもらい、より多くの方に議論が広がっていくことで、一層の理解促進や機運醸成に繋がることを期待し、署名活動を実施している。	機運醸成イベント等の開催や要望活動等により、四国の新幹線の実現に関する理解促進が図られた。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
③国等への要望 四国の新幹線導入、公共交通への支援、離島への航路の存続に向けた支援について国に対して要望した。	
瀬戸大橋関連事業費等（7－3－4） 1. 趣旨・概要 瀬戸大橋の料金水準の維持や瀬戸大橋関連島しょ部の活性化を図るため、関係自治体と連携して、利用促進や島しょ部への交通手段の確保に取り組んだ。 2. 具体的内容 (1) 島しょ部交通対策等事業（15,286千円） 瀬戸大橋関連島しょ部の活性化を図るため、坂出市が実施する島民及び路線バスの瀬戸大橋通行料金軽減対策に対し、補助を行った。 ①島民の通行料金軽減対策費補助 本州四国連絡高速道路㈱が35%、坂出市が45%を負担し、県は坂出市に対して負担額の1/2を補助した。 ・市事業費：24,733千円、県補助額：12,366千円 ②瀬戸大橋路線バスの通行料金軽減対策費補助 本州四国連絡高速道路㈱が30%割引を実施、坂出市は割引後の通行料金相当額を負担し、県は坂出市に対して負担額の1/2を補助した。 ・市事業費：5,841千円、県補助額：2,920千円 (2) 瀬戸大橋関連事業費（2,438千円） 与島第二駐車場の維持管理を行った。	島民の通行料金軽減や瀬戸大橋路線バスの運行維持など、島民の交通手段確保が図られた。

2. 課総括表

課名：空港振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-4-1	「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業	12,817	12,716		101	主要施策の成果の概要 (7-4-1) に記載
7-4-2	観光客受入態勢整備事業	31,167	30,488		679	主要施策の成果の概要 (7-4-2) に記載
7-4-3	国際観光推進事業	618,861	617,727		1,134	主要施策の成果の概要 (7-4-3) に記載
7-4-4	高松空港振興対策事業	(11,678) 513,046	(11,677) 465,359	47,000	(1) 687	主要施策の成果の概要 (7-4-4) に記載
7-4-5	給与費	114,821	114,517		304	空港振興課職員の給与費等 給料57,072、職員手当等36,258、 共済費21,187
7-4-6	駐車場事業特別会計繰出金	336	336			一般会計から駐車場特別会計へ繰 り出すもの
7-4-7	空港振興事務費	950	949		1	空港振興課の運営等に要する経費
	課計	(11,678) 1,291,998	(11,677) 1,242,092	47,000	(1) 2,906	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R7.3.31現在)

課名：空港振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
空港振興課	(3) 14	1	(3) 15	育児休業 1名
合計	(3) 14	1	(3) 15	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
「うどん県。それだけじゃない香川県」誘客促進事業（7－4－1）	3. 指標						
1. 趣旨・概要	県外観光客数（暦年）（千人）						
県内全域に観光客の誘致を図るため、琴平、栗林公園、屋島、小豆島といった老舗観光地を中心に、イベントや情報発信などを行う誘客キャンペーンを実施した。	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>7,770</td><td>9,262</td><td>10,171</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	7,770	9,262	10,171
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
7,770	9,262	10,171					
2. 具体的内容	延宿泊者数（暦年）（千人）						
（1）国内線（成田線）誘客促進事業（12,716千円）	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>3,240</td><td>4,747</td><td>4,891</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	3,240	4,747	4,891
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
3,240	4,747	4,891					
若年層を主なターゲットとし、ジェットスターと連携した各種キャンペーンやInstagram等SNSを利用した情報発信など、成田-高松線を活用した本県への誘客を図る観光プロモーションを実施した。	ジェットスター利用者数：265,637人						
また、機内誌「ジェットスター・マガジン」への観光情報の掲載やインフルエンサー（ジェットスター・アンバサダー）を活用した情報発信など、本県の認知度を高め、訪問意欲を向上させる取組みを行った。							

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
観光客受入態勢整備事業（7－4－2） 1. 趣旨・概要 本県を訪れる観光客の満足度と利便性の向上を図るため、多言語コールセンターの運営や、地域通訳案内士や県内事業者を対象とする講習会の開催、クレジットカードのタッチ決済端末導入費用の支援など、観光客の受入態勢の充実・強化を行った。 2. 具体的内容 （1）外国人観光客受入環境向上事業（7,034 千円） 外国人観光客の本格的な受入れに向けて、多言語コールセンターの運営による県内の観光施設、宿泊施設、飲食店等への多言語通訳・翻訳サービスの支援、地域通訳案内士や県内事業者を対象とする講習会などを行った。 （2）空港リムジンバスキャッシュレス化支援事業 （23,454 千円） 大阪・関西万博を契機とした本県への観光客等の受入環境を整備するため、空港リムジンバス事業者に対し、運賃決済のためのクレジットカードのタッチ決済端末導入費用等を支援した。	3. 指標 外国人延宿泊者数（暦年）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>34</td><td>907</td><td>818</td></tr></table> 多言語通訳・翻訳コールセンターの利用状況：登録事業者数：32 件、3 月末までの利用実績：通訳 237 件、翻訳 447 件 講習会の開催 1 回 43 人	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	34	907	818
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
34	907	818					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																																				
国際観光推進事業（7－4－3） 1. 趣旨・概要 観光香川の魅力を海外に向けて情報発信するとともに、旅行会社等の招請や旅行博への出展等の誘客活動を行った。 2. 具体的内容 （1）ビジット香川誘客重点促進事業（610,227千円） ①韓国 公式SNS（インスタグラム）やブログ、各種メディアを活用した継続的な情報発信、韓国のインフルエンサー等の招請などを行ったほか、「瀬戸内国際芸術祭2025セミナー」を開催した。 ②中国 公式SNS（微博、微信、小紅書）による情報発信や在上海日本総領事館での四国観光セミナーへの参加などを行った。 ③台湾 公式SNS（フェイスブック等）による情報発信や県内観光事業者と現地旅行会社との商談会の実施、「台北国際旅行博(ITF)」等への出展などを行った。 ④香港 公式SNS（フェイスブック等）や各種メディア、インフルエンサーを活用した継続的な情報発信、「香港国際旅行博覧会(ITE)」への出展などを行った。 ⑤その他 公式SNS（フェイスブック）を活用した継続的な情報発信や旅行会社等へのセールスコール、「タイ国際旅行博(TITF)」への出展などを行った。 （2）国際イベント等を活用した誘客対策事業（7,500千円） （一社）せとうち観光推進機構や東京観光財団、近隣県等と連携し、商談会の開催や、旅行会社やメディアの招請などを行った。 （3）外国人観光客受入環境向上事業（7,034千円）（再掲） （4）空港リムジンバスキャッシュレス化支援事業（再掲）（23,454千円）	3. 指標 外国人延宿泊者数（暦年）（再掲）（千人） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>34</td><td>907</td><td>818</td></tr></table> 外国人延宿泊者数（暦年）（従業者数10人以上の施設） <table><tr><th></th><th>R6年実績値 （人泊）</th><th>前年比 （倍）</th></tr><tr><td>韓国</td><td>149,920</td><td>1.8</td></tr><tr><td>中国</td><td>148,590</td><td>4.3</td></tr><tr><td>台湾</td><td>238,540</td><td>2.2</td></tr><tr><td>香港</td><td>63,270</td><td>1.6</td></tr><tr><td>タイ</td><td>2,990</td><td>1.1</td></tr><tr><td>ベトナム</td><td>1,190</td><td>1.7</td></tr><tr><td>アメリカ</td><td>21,320</td><td>1.5</td></tr><tr><td>フランス</td><td>7,930</td><td>1.4</td></tr><tr><td>オーストラリア</td><td>10,140</td><td>1.5</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	34	907	818		R6年実績値 （人泊）	前年比 （倍）	韓国	149,920	1.8	中国	148,590	4.3	台湾	238,540	2.2	香港	63,270	1.6	タイ	2,990	1.1	ベトナム	1,190	1.7	アメリカ	21,320	1.5	フランス	7,930	1.4	オーストラリア	10,140	1.5
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）																																			
34	907	818																																			
	R6年実績値 （人泊）	前年比 （倍）																																			
韓国	149,920	1.8																																			
中国	148,590	4.3																																			
台湾	238,540	2.2																																			
香港	63,270	1.6																																			
タイ	2,990	1.1																																			
ベトナム	1,190	1.7																																			
アメリカ	21,320	1.5																																			
フランス	7,930	1.4																																			
オーストラリア	10,140	1.5																																			

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
高松空港振興対策事業（7－4－4）	3. 指標						
1. 趣旨・概要	定期航空路線利用者数（万人）						
香川県の経済の活性化や拠点機能の向上のため、高松空港における国内路線網及び国際路線網の維持拡充や施設整備を図った。	<table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>133</td><td>210</td><td>199</td></tr></table>	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	133	210	199
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
133	210	199					
2. 具体的内容							
（1）航空ネットワーク振興対策事業（374,400千円）							
県民全体の交通利便性の確保や地域間の経済・文化交流の手段としての航空ネットワークを維持、拡充させるため、既設路線の利用促進や新規路線の開設について航空会社へ要望を行うなど、以下の事業に対して、経費の負担等を行った。							
①広報・要望活動等							
高松空港のホームページ等における既設路線の広報活動を行うとともに、国に対し、空港のグランドハンドリングの人材確保・育成等の要望を行った。							
②東京（羽田・成田）線	国内線の利用者数について、羽田線は、前年度比103.0%の1,233,791人、成田線は、前年度比103.5%の265,637人、那覇線は、前年度比118.9%の127,621人となった。						
羽田線においては、若年層向けに運賃割引キャンペーンを実施したほか、カレンダーを活用して県のプロモーションを行った。成田線においては、若年層をターゲットとしたWeb広告等による利用促進や、県内大学等でのイベント等を活用した路線PRに努めた。							
③那覇線							
路線PR用の動画を作成しSNS等でプロモーションを実施したほか、WEBを使った情報発信、高知蔦屋書店で路線PR及びキャンペーンを実施し、利用促進等に努めた。							
④ソウル線	ソウル線は、ジンエアーの就航によるダブルトラック化等により、利用者数は、対前年度比154.0%の207,882人となった。						
Webを活用した各種キャンペーンを行うなど、利用促進を図るとともに、新聞・雑誌など様々な媒体を活用した路線PRに努めた。							
⑤上海線	上海線は、4月の運航再開により、対前年度比7544.0%の63,370人となった。						
旅行会社に対する広告支援などの利用促進に努めたほか、高松空港株式会社が主催するイベントにおいて路線PRを行った。							
⑥台北線	台北線は、旺盛な訪日旅行意欲を背景に好調な搭乗率を維持し、対前年度比105.3%の70,192人となった。						
交通系ICカードを配布するキャンペーンを行うなど利用促進に努めたほか、県内外の書店や商業施設でのPRイベント開催などのプロモーションを行った。							
⑦香港線	香港線は週5便で運航され、11月からのデイリー運航化により、対前年度比177.0%の85,565人となった。						
大学の文化祭やショッピングモールでPRイベントを開催して利用促進を図ったほか、高松空港リ							

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
ムジンバスのラッピング広告を行って路線PRに努めた。 ⑧台中線 旅行会社に対する広告支援などの利用促進に努めたほか、高松空港リムジンバスのラッピング広告や県内外の商業施設でPRイベントを開催するなどのプロモーションを行った。 (2) 直轄空港整備費負担金 (90,149 千円) 国管理空港である高松空港において国が行う整備事業に要する経費の一部について、空港法第6条による負担を行った。	台中線は、令和6年3月から定期チャーター便として週3便で運航され、対前年度比皆増の51,810人となった。 滑走路端安全区域 (RESA) 整備に向けて、本体工事着手に向けた工事用道路 (東側区間) の工事に着手した。

2. 課総括表

課名：県産品振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
7-5-1	給与費	115,586	115,147		439	県産品振興課職員の給与費 給料60,763、職員手当等35,885 共済費18,499
7-5-2	県産品振興事務費	6,146	6,036		110	県産品振興事業推進のために要する経費
7-5-3	香川の逸品戦略的販路拡大事業等	60,244	45,320		14,924	主要施策の成果の概要 (7-5-3) に記載
7-5-4	県産品海外輸出戦略協議会運営費	234	109		125	関係団体等との県産品認知度向上と販路拡大に関する情報交換及び輸出課題の検討会に要する経費
7-5-5	伝統的工芸品等販路拡大事業	16,073	15,883		190	主要施策の成果の概要 (7-5-5) に記載
7-5-6	「かがわの食」Happyプロジェクト事業	54,656	53,967		689	主要施策の成果の概要 (7-5-6) に記載
7-5-7	瀬戸内海国立公園指定90周年記念“香川×岡山”食の大博覧会事業	23,997	23,997			主要施策の成果の概要 (7-5-7) に記載
7-5-8	県産品アンテナショップ機能強化事業	25,693	24,848		845	主要施策の成果の概要 (7-5-8) に記載
7-5-9	東京アンテナショップ運営事業	50,844	50,589		255	主要施策の成果の概要 (7-5-9) に記載
7-5-10	高松空港ビル等県産品PR事業	559	559			高松空港ビルにおける県産品PRコーナーの運営に要する経費
	課計	354,032	336,455		17,577	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R7.3.31現在)

課名：県産品振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
県産品振興課	(19) 13	[1] 2	[1] (19) 15	(一財) かがわ県産品振興機構派遣1名 市併執職員1名 育児休業1名
合計	(19) 13	[1] 2	[1] (19) 15	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[]内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
香川の逸品戦略的販路拡大事業等（7－5－3） 1. 趣旨・概要 国内の首都圏等の大消費地や、近隣アジア諸国などの海外市場をターゲットに、総合的な情報発信や販売活動を行い、県産品のブランド力の強化と戦略的な販路開拓・拡大を推進した。 2. 具体的内容 （1）県産品販路拡大推進事業（20,195千円） 首都圏や関西圏の大消費地をターゲットに、百貨店等での香川県フェアの開催や、卸・仲卸業者が有する販売ルートの活用により、量販店やレストランへの販路拡大を図るとともに、大阪・関西万博を見据え関西圏の外資系ホテル等のレストランにおいて、フェアを実施し、県産食材の認知度向上及び販路開拓に努めた。 また、首都圏レストランシェフ・バイヤー等を対象とした試食会の開催などにより、香川の優れた食材の積極的な情報発信を行った。 （2）海外販路開拓推進事業（19,366千円） 近隣アジア諸国等をターゲットに、国・地域ごとの輸入制度等に応じて選定した輸出品目について、現地百貨店等でのフェアの開催等を通じて認知度の向上に努めたほか、輸出入業者や関係団体との連携を強化し、継続的な販売促進と新たな販路の開拓に取り組んだ。 また、県産品の海外への販路拡大に関する連携協定を締結したグローバル企業との取組みを強化し、アジアの店舗において新たに水産物フェアを実施したほか、米国の店舗で開催されるフェアへの事業者出展を促進し、販路拡大を図った。 （3）県産品情報発信強化事業（5,127千円） 県産品ポータルサイト「LOVEさぬきさん」を活用し、県産品の魅力を写真や動画、ブログなどでタイムリーに伝えとともに、SNS広告等を活用したデジタルプロモーションを実施したほか、県産オリーブを使用した県産品の認証制度に取組み、百貨店等でPRフェアを実施するなど、県産品の認知度向上とブランド化に取り組んだ。 （4）県産品コンクール開催事業（632千円） 県産品の商品開発を促進するとともに、県を代表する県産品の掘り起こしを行うことを目的に、県産品を集めたコンクールを実施した。（22回目）	3. 指標 県産品の国内販売額（県サポート実績）（千円） <table><tr><th>基準値 （R2）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>2,004,239</td><td>2,862,687</td><td>2,364,000</td></tr></table> 百貨店等フェア開催店舗数 令和4年度実績：延べ128店 令和5年度実績：延べ108店 令和6年度実績：延べ196店 レストランフェア開催店舗数 令和4年度実績：12店 令和5年度実績：13店 令和6年度実績：8店 県産品の海外販売額（県サポート実績）（千円） <table><tr><th>基準値 （R2）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>290,491</td><td>531,932</td><td>465,000</td></tr></table> 海外でのフェア・商談会等開催回数 令和4年度実績：31回 令和5年度実績：24回 令和6年度実績：38回 サイトアクセス数 令和4年度実績：845,600PV 令和5年度実績：1,159,934PV 令和6年度実績：1,102,591PV 香川県産オリーブ関連商品認証商品数 認証商品数：281品（85事業者） 応募数：106品（令和5年度103品） 部門数：4部門 受賞数：知事賞4品、優秀賞4品	基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	2,004,239	2,862,687	2,364,000	基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	290,491	531,932	465,000
基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）											
2,004,239	2,862,687	2,364,000											
基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）											
290,491	531,932	465,000											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
「かがわの食」Happy プロジェクト事業（7－5－6） 1. 趣旨・概要 食をテーマとしたイベントやフェアの開催、食のアンテナショップなどによる情報発信等を通じて、県民や観光客に対して、県産品の認知度向上と販売促進を図った。 2. 具体的内容 （1）観光客「かがわの食」プロモーション事業（5,925 千円） 県内の飲食店と連携し、オリーブ食材や地魚等を使った各店お薦めメニューを提供するレストランフェアを開催するとともに、食に関するインフルエンサーを起用したSNS プロモーションを実施し、利用促進を図った。 （2）県民「かがわの食」プロモーション事業（48,042 千円） ①さぬきマルシェ事業 県産食材や加工品の生産者が消費者に対面で販売するマルシェ（欧風市場）の開催を支援し、魅力ある香川の「食」の情報発信を行った。 ②うまいもん出前講座事業 オリーブやオリーブ牛などの品目ごとに、生産者や販売業者等で構成される「うまいもん広め隊」を9隊結成し、小中高等学校、特別支援学校への出前講座を通じた県産食材のPRを行った。 ③レストラン・飲食店連携事業 県産食材を使用した幅広い料理を提供する情報発信力の高いレストラン「さぬきダイニング」を活用した情報発信を行った。 ④情報発信事業 県内のマスメディア等と連携し、県産食材の魅力や食の事業等の情報発信を行うことにより、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。 ⑤食事業連携事業 業界団体と連携し、「年明けうどん」の普及に向けたPRを行うとともに、民間団体等が行う商品開発や販売手法等を活用して、香川の食を広くPRした。 ⑥民間事業者連携事業 県内の飲食店や量販店等と連携し、県産食材を活用した商品を開発し販売することにより、県産食材の認知度向上と消費拡大を図るとともに、全国からご当地うどんを集めたイベント「全国ご当地うどんサミット in さぬき」の開催を支援し、本県のブランド力の向上を図った。	3. 指標 県産品の認知度（重点産品）（%） <table><tr><th>基準値 （R2）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>24.4</td><td>25.4</td><td>28.8</td></tr></table> 令和6年9月15日～令和7年1月15日 参加飲食店：県内の飲食店延べ240店 開催実績：12回 出店数：延べ638店(53店/回) 来場者数：92,215人(7,684人/回) 講座開催数：26校26回実施 「さぬきダイニング」：28店舗 年明けうどん提供店：132店 給食用メニュー提供校：184校（小・中） 恵方巻・ロール販売数：4,079本 月見だんご販売数：7,475個 全国ご当地うどんサミット in さぬき 出展ブース数：24ブース 来場者数：30,000人	基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	24.4	25.4	28.8
基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
24.4	25.4	28.8					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
伝統的工芸品等販路拡大事業（7－5－5） 1. 趣旨・概要 地場産品・伝統的工芸品等の関係団体と緊密に連携し、首都圏などの大消費地や海外市場をターゲットに、様々なプロモーションによる積極的な情報発信を展開するとともに、販路拡大に取り組んだ。 2. 具体的内容 (1) 小売店対策（11,471 千円） 地場産品・伝統的工芸品の認知度向上及び販路拡大を図るため、常時取引が可能で、情報発信力に優れたセレクトショップ等と連携し、関西圏や首都圏店舗での展示販売やオンラインショップでのフェアを開催したほか、フェア終了後の継続販売につなげた。 (2) 新商流確保対策（1,312 千円） 香川の「BONSAI」ブランディング事業で、南フランスを訪問し、富裕層の顧客を持つ地元園芸店で意見交換、商談を実施し、今後の商流拡大につなげた。 (3) 香川の「BONSAI」ブランディング事業（3,100 千円） 南フランスにおいて、行政機関への表敬訪問をはじめ、5つ星ホテルでのプロモーションや美術館でのPRイベントを実施し、富裕層と一般消費者それぞれに対し、高松盆栽の魅力を強く発信した。 これにより、南フランスのバイヤーが初来県し、松盆栽の販路拡大につなげた。	3. 指標 県産品の国内販売額（県サポート実績）（再掲）（千円） <table><tr><th>基準値 （R2）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>2,004,239</td><td>2,862,687</td><td>2,364,000</td></tr></table> 県産品の海外販売額（県サポート実績）（再掲）（千円） <table><tr><th>基準値 （R2）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>290,491</td><td>531,932</td><td>465,000</td></tr></table> 首都圏店舗での「香川県フェア」の開催 開催箇所：4か所 開催日数：延べ112日 出展事業者数：延べ53事業者 オンラインショップでの「香川県フェア」の開催 開催箇所：1か所 開催期間：9月～3月 出展事業者数：7事業者	基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	2,004,239	2,862,687	2,364,000	基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	290,491	531,932	465,000
基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）											
2,004,239	2,862,687	2,364,000											
基準値 （R2）	実績値 （R6）	目標値 （R7）											
290,491	531,932	465,000											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
“香川×岡山”食の大博覧会事業（7－5－7） 1. 趣旨・概要 瀬戸内海国立公園指定90周年を契機に、備讃瀬戸に面した岡山県と連携し、瀬戸内の気候風土に育まれた両県の「食」の県産品を集めたイベントを両県で1回ずつ開催し、県産品の認知度向上と販売拡大を図った。 2. 具体的内容 （1） “香川×岡山”食の大博覧会事業（23,997千円） 岡山県と連携し、両県の食の県産品を集めたイベントを初めて開催し、ブースやキッチンカーでのPR販売やワークショップ、ステージイベント等により、県産品の魅力発信を行った。	開催実績 【香川会場】サンメッセ香川 令和6年6月22日（土）、23日（日） 出展ブース数：68ブース 来場者数：32,688人 【岡山会場】きびプラザ周辺 令和6年10月19日（土）、20日（日） 出展ブース数：50ブース 来場者数：20,000人

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
県産品アンテナショップ機能強化事業（7－5－8） 1. 趣旨・概要 「かがわ物産館 栗林庵」、「香川・愛媛せとうち旬彩館」を拠点に、県産品の効果的な情報発信や魅力ある県産品の掘り起こし、消費者の反応のフィードバック等による売れる商品づくりの支援等を通じて、県産品のブランド化と県内外へのより一層の販路拡大を図った。 2. 具体的内容 （1）県産品アンテナショップ機能強化事業 （12,495 千円） 栗林庵において県産品のフェアや各種イベントを開催したほか、県内事業者が栗林庵で実施するワークショップを支援することにより、県産品の認知度向上と販売促進を行った。 また旬彩館において、県産品の消費喚起「売れる」県産品の掘り起こしや商品改良アドバイスを行ったほか、イベントコーナーでのテストマーケティングを実施する県内事業者への支援を行った。 （2）栗林庵リニューアル事業 （10,679 千円） 利用者の利便性を図り、付加価値の高い商品を強く訴求するため、県産ヒノキを活用した陳列棚を新調するなど、栗林庵の全面リニューアルを行い、魅力ある県産品の情報発信、販売促進を行った。 （3）期間限定大阪アンテナショップ設置事業 （1,674 千円） 関西圏における県産品の認知度向上やブランド力強化を図るため、阪急大阪梅田駅において、県産品の効果的な情報発信を行うとともに、販売促進を行った。	3. 指標 アンテナショップの販売額（物販） （千円） <table><tr><th>基準値 （R4）</th><th>実績値 （R6）</th><th>目標値 （R7）</th></tr><tr><td>420,693</td><td>475,374</td><td>452,076</td></tr></table> 栗林庵店舗販売額 令和4年度実績：257,002 千円 令和5年度実績：302,947 千円 令和6年度実績：289,440 千円 栗林庵オンラインショップ販売額 令和4年度実績：26,836 千円 令和5年度実績：13,839 千円 令和6年度実績：12,841 千円 リニューアル休業期間 令和7年1月14日～31日（18日間） リニューアルオープン 令和7年2月1日（土） 期間限定大阪アンテナショップ 期間：令和6年11月6日～13日 場所：阪急大阪梅田駅2階中央催事店 来店者数：7,102 人	基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）	420,693	475,374	452,076
基準値 （R4）	実績値 （R6）	目標値 （R7）					
420,693	475,374	452,076					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
東京アンテナショップ運営事業（7－5－9） 1．趣旨・概要 愛媛県と共同設置の東京アンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」を拠点に、首都圏における県産品のイメージアップや販路拡大、観光情報の発信を行った。 2．具体的内容 （1）店舗賃借費（43,695 千円） 所在地：東京都港区新橋二丁目 19-10 新橋マリビル1・2階 493.10 m ² （2）管理費等（6,894 千円） 両県で組織する運営協議会により、管理運営を行った。 また、首都圏に開設しているアンテナショップが連携して行うイベントへの参加を通じて、より一層の認知度向上を図った。	3．指標 アンテナショップの販売額（物販） （再掲） <table><tr><th>基 準 値 （ R 4 ）</th><th>実 績 値 （ R 6 ）</th><th>目 標 値 （ R 7 ）</th></tr><tr><td>420,693</td><td>475,374</td><td>452,076</td></tr></table> せとうち旬彩館販売額 令和4年度実績：136,855 千円 令和5年度実績：166,156 千円 令和6年度実績：173,093 千円	基 準 値 （ R 4 ）	実 績 値 （ R 6 ）	目 標 値 （ R 7 ）	420,693	475,374	452,076
基 準 値 （ R 4 ）	実 績 値 （ R 6 ）	目 標 値 （ R 7 ）					
420,693	475,374	452,076					